



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

12月号—No.284

2018.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



福岡ジルベスターコンサート

©福岡ジルベスターコンサート実行委員会

●目次 / contents

今月のニュース..... 2

「ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース」
「文化政策幹部セミナー」 報告

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー..... 4

今月の情報..... 9

地域通信

財団からのお知らせ..... 13

平成31年度ステージラボ開催地のお知らせ / 「市町村長特別セミナー」
終了報告 / 平成29年度事業報告書 ウェブサイト公開のお知らせ

制作基礎知識シリーズ Vol.44..... 14

「若年層の文化行動」① ジャンルにとらわれない若者たち

今月のレポート..... 16

さいたま市 彩の国さいたま芸術劇場「世界ゴールド祭2018」

改めて多様な地域の公立ホール運営事例を学ぶ

ステージラボ
公立ホール・劇場
マネージャーコース

2018年10月16日～18日

文化政策幹部セミナー

2018年10月17日、18日



地域創造では公立文化施設の幹部職員を対象とした研修事業「ステージラボ 公立ホール・劇場マネージャーコース」(以下、マネージャーコース)と自治体の文化セクション幹部職員を対象とした「文化政策幹部セミナー」(以下、幹部セミナー)を同時開催し、施設運営者と設置主体の課題共有や相互交流を図っています。今回は、新潟市文化スポーツ部参事・政策監という市職員の立場でりゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館副支配人を務める真田弘彦さん(マネージャーコース)と、文化政策の専門家であり、地域創造の理事でもある政策研究大学院大学教授の垣内恵美子さん(幹部セミナー)をコーディネーターに迎え、改めて多様な地域の公立ホールの運営事例を学ぶとともに、地域に資する公立ホールのあり方について議論が行われました。

●地域との関係を問い直す～マネージャーコース

マネージャーコースには、公立ホール、財団等の職員14人が参加しました。2017年に文化芸術基本法の一部改正が行われるなど、公立文化施設を巡る環境は時代とともに変化しています。今回のマネージャーコースでは、1998年に開館したりゅーとぴあの開設準備から携わり、20年以上の変化を現場で身を以て体験してきた真田コーディネーターが、その変化について自身の経験を交えて解説。また、りゅーとぴあについて、新潟市の文化創造交流都市ビジョンへの位置付け、事業内容、専属ダンスカンパニーNoismを有する組織体制、地域

との関わり、非公募指定の指定管理者になるための手続きなど、詳細に報告しました。

真田さんは、「かつて新潟市は行政が主導して方向性を示し、市に事務局を置いた実行委員会が文化行政を推進するヒエラルギー型だったが、近年、りゅーとぴあの果たす役割も含め、行政が調整役としてさまざまな活動を繋ぐネットワーク型のガバナンスに変わってきた。その中でりゅーとぴあは、新潟市の文化的なイメージを高める一定の役割を果たしてきたのではないかと思う」と総括していました。

その後のゼミでは、首都近郊の公立ホールとしてアーティストと地域が繋がる事業を展開している富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ、直営により住民主役を掲げて市内のホールを運営している小美玉市の取り組みを取り上げました。

キラリ☆ふじみの松井憲太郎館長は、芸術監督やアソシエイトアーティストと連携したオリジナル作品づくりに加え、近年の重要な事業の柱となっている「サーカス・バザール」(地域の物産展と大道芸などを組み合わせた館内交流イベント)と「ふじみ大地の収穫祭」(農業を地域の生活文化としてとらえた地域の芸能と農産物の出店やトークを合体した館内交流イベント)について紹介。また、小美玉市四季文化館「みの～れ」と小川文化センター「アピオス」を兼務する山口茂徳館長は、アピオスのヒット企画である「スター☆なりきり歌謡ショー」など住民が企画して主体的に取り組むさまざまな事業を紹介。「ホールの住民参加の仕組みが今では小美玉のまちづくりの仕掛けに変わっ

写真

左：共通ゼミの様子(右端が垣内恵美子さん、右から2人目が真田弘彦さん)

右：ステージラボ マネージャーコースのグループディスカッションの様子

▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

た。ホールは集客施設ではなく、住民が日常的に心の拠り所として集まるところであり、ホール育ては地域育てだ」と強調されていました。

また、太下義之さん(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主席研究員)からは、2020年東京オリンピック・パラリンピックを地域活性化に繋げる心構えについての講義もあり、地域との関係を見直す契機となりました。

●地域の文化政策、劇場のあり方を考える～幹部セミナー／共通ゼミ

幹部セミナーには自治体と財団職員20人が参加しました。公立文化施設での調査経験も豊かな垣内さんは、受講生とそうした実証研究の成果や地方自治体の文化政策の経緯を共有するとともに、「ひとづくり、まちづくり、産業育成」がゴールとして求められるという21世紀の地域文化政策について議論を行いました。

まず、垣内さんから明治以降の日本の文化政策の流れと現状について概観する講義と、これまでアンケートを実施した公立文化施設の実証研究の成果が紹介されました。年間30万人が来場するというりゅーとびあの観客の消費による新潟県内経済波及効果(推計年間約20億円)、兵庫芸術文化センターの観客を対象に行われた仮想評価法(劇場を維持するために支払っても構わない金額を尋ねることによる評価手法)による調査結果(社会的便益が推計年間約55億円)、ミュゼ川崎シンフォニーホールの「音楽のまち・かわさき」による市民意識の変化(2008年調査によると10歳代、20歳代で「音楽」がまちのイメージの1位)など、公立文化施設の存在意義がさまざまな角度から明らかにされるとともに課題も浮き彫りになりました。

これを受けて、指定管理者制度の先進事例となる公立文化施設のキーパーソンを講師に招いたゼミが行われました。過疎の中山間地域に立地した松江市・しいの実シアターを運営するNPO法人あしぶえの園山土筆理事長は、旧八雲村と劇団あしぶえの連携により108席の日本初の公設民営劇場・しいの実シ

アターが誕生した経緯、中学生から70歳代までの約70人のボランティアによって運営されている演劇祭など、市場経済では計り知れない取り組みを紹介。また、公害という負のイメージからの脱却を目指したシンボル施設であるミュゼ川崎の音楽のまちづくりについての取り組みも報告されました。

マネージャーコースとの共通ゼミに登壇していただいたのが、県職員として兵庫県立芸術文化センターの立ち上げから関わり、2013年から副館長を務める藤村順一さんです。館長でもある井戸敏三知事のリーダーシップの下で、行政とプロデューサーが一体となった運営体制、アカデミー型オーケストラを創設した芸術監督(佐渡裕)による専門性と徹底的な普及活動、阪神・淡路大震災の復興のシンボルとしての地域の人々の期待と参加が成功の要因とされる取り組みの実態がアンケート結果などを交えて詳細に語られました。

参加者からは、「公共ホールや文化芸術の存在意義を改めて考える機会になったのと同時に、他の参加者との意見交換や情報交換の場としても有意義なものとなりました」といった感想も聞くことができました。



文化政策幹部セミナーのグループディスカッションの様子

ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース／文化政策幹部セミナー スケジュール

	ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース コーディネーター: 真田弘彦 [新潟市文化スポーツ部 参事・政策監、りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 副支配人]	文化政策幹部セミナー コーディネーター: 垣内恵美子 [政策研究大学院大学 教授(文化政策)]
10月16日	ゼミ1: 真田弘彦	
	ゼミ2: 真田弘彦	
	ゼミ3: 真田弘彦	
	ゼミ4: 松井憲太郎(富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ 館長)	ゼミ1: 垣内恵美子
10月17日	ゼミ6: 山口茂徳(小美玉市四季文化館「みの〜れ」館長兼 小美玉市小川文化センター「アピオス」館長)	ゼミ2: 垣内恵美子
	ゼミ6: 太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主席研究員/芸術・文化政策センター長)	ゼミ3: 園山土筆(松江・森の演劇祭芸術監督、認定NPO法人あしぶえ理事長)
交流会		
10月18日	共通ゼミ: 藤村順一(兵庫県立芸術文化センター 副館長)	
	ゼミ7: 真田弘彦	ゼミ4: 竹内淳(ミュゼ川崎シンフォニーホール 事業部長)
	ゼミ8: 真田弘彦	ゼミ5: 垣内恵美子
	修了式	



クリスマス&年越し・新春企画特集



恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

☑は会場、📍は問い合わせ先です(📞は地域創造助成事業)。

クリスマス企画

●札幌市 12月23日

クリスマスオルガンコンサート

地元高校生が出演する恒例のバイオルガンコンサート。第20代専属オルガニスト、シモン・ボレノがバッハなどの名曲を奏でるほか、札幌旭丘高校と札幌山の手高校合唱部との共演でお馴染みのクリスマスソングを披露する。22日には、井上道義と札幌交響楽団による恒例のコンサート「Kitaraのクリスマス」も開催。
☑札幌コンサートホールKitara
📍札幌市芸術文化財団
Tel. 011-520-2000

●青森県八戸市 12月1日～25日
はっちのクリスマス2018

2011年の開館以来継続しているクリスマス企画。期間中ははっちや、向かいにオープンした交流広場「八戸まちなか広場 マチニワ」をツリーやイルミネーションで彩るほか、作品展やワークショップなどクリスマスにちなんだイベントが行われる。
☑📍八戸ポータルミュージアムはっち Tel. 0178-22-8228

●茨城県水戸市 12月23日

クリスマス・プレゼント・コンサート2018

池辺晋一郎(水戸出身)の企画に

よる恒例のコンサート。NHK水戸児童合唱団によるクリスマス・ソングメドレー、荒木奏美(オーボエ)と吉田秀(コントラバス)による珍しいデュオ、鈴木大介(クラシックギター)のソロ、天羽明恵(ソプラノ)が他の出演者たちと協演するステージなど多彩なプログラム。

☑水戸芸術館コンサートホール ATM 📍水戸市芸術振興財団
Tel. 029-227-8118

●茨城県日立市 12月2日

子どもオペラ「イルミネーションオペラコンサート」

日立シビックセンター新都市広場などを約10万球のイルミネーションでライトアップする「ヒタチスターライトイルミネーション」(11月23日～12月25日)の光とともに、オペラ体験プログラム「子どもオペラ学校」のOGや市内の子どもたちがプロのオペラ歌手と共にオペラの名曲やクリスマスソングを披露する。

☑日立シビックセンター
📍日立市民科学文化財団



イルミネーションオペラコンサート(2016年)

Tel. 0294-24-7711

●さいたま市 12月16日

プラザノース de クリスマス

クリスマス恒例の親子で楽しむコンサート。0歳児から入場可能な午前の「キッズコンサート」と、3歳以上の子どもを対象とした午後の「ファミリーコンサート」を開催。埼玉県出身の東京藝大OBによるユニークな編成のアンサンブル「Music Players おかわり団」とうた(守屋由貴)の演奏で、お馴染みのクリスマスソングを楽しめる。

☑📍さいたま市 プラザノース
Tel. 048-669-0300 (10:00-17:00)

●埼玉県東松山市 12月22日

MUSIC BOX! Vol.3 野尻小矢佳コンサート「プレゼント～観て、聴いて、感じる音物語～」

「ひがしまつやま芸術祭」の一環で企画しているコンサート。今回は、パーカッション&ヴォイスの野尻小矢佳が登場。小学校での音楽鑑賞事業「アーティスト in School」で活躍する地域のアーティストとのコラボレーション、観客参加型のボディパーカッションなど、0歳児から大人まで楽しめる。

☑東松山市民文化センター
📍東松山文化まちづくり公社
Tel. 0493-24-6080

写真

左上: クリスマスオルガンコンサート(札幌市) ©札幌市芸術文化財団

右上: 愛知県立芸術大学オペラ公演 歌劇『ヘンゼルとグレーテル』(愛知県知立市)

左下: 京フィルクリスマスコンサート(京都府八幡市)

右下: めまづニューイヤヤー・ガラコンサート(静岡県沼津市)

●千葉県習志野市 12月22日
習志野シンフォニエッタ千葉メンバーが贈る クリスマスコンサートinモリシアホール

元NHK交響楽団首席クラリネット奏者・横川晴児の呼びかけで、習志野市や千葉県にゆかりのある演奏家を中心に結成されたプロオーケストラ、習志野シンフォニエッタ千葉。2019年2月の第1回演奏会を控え、横川や宮崎由美香(フルート)ら5名のメンバーが、小ホールを会場にアットホームな演奏会を開催。親子向けと大人向けの2部制。

☎モリシアホール
☎習志野文化ホール
Tel. 047-479-1212

●東京都立川市
12月21日～23日

立川シアタープロジェクト presents 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.3『ドリトル先生と動物たち、月へゆく』

質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、世界にはばたく人材の育成を目指す「立川シアタープロジェクト」の一環で、毎年クリスマスの時期に合わせて世代を超えて楽しめるオリジナル演劇を上演するシリーズ。今年はドリトル先生シリーズを原作に、動物の言葉が話せるドリトル先生と助手のトミー、そして仲間の動物たちとの冒険を生演奏の音楽とともに描く。

☎たましんRISURUホール
Tel. 042-526-1311

●東京都三鷹市 12月22日
クリスマスファミリーコンサート2018 小学生からのクラシック

市内小学校へのアウトリーチ事業に参加したアーティストが一堂に会する恒例のガラコンサート。公演に先立ち、ピアニストの中川賢一が小学校でワークショップを行い、5年生の子ども

たちが『くるみ割り人形』の音楽をテーマに絵画を制作。当日はこの絵画を投影しながら同曲を鑑賞してもらう。また6年生111人がドビュッシーの『ベルガマスク組曲』をモチーフに、アニメーション制作にも挑戦。

☎三鷹市芸術文化センター
☎三鷹市スポーツと文化財団
Tel. 0422-47-5122

●東京都調布市
12月18日～24日

親子のクリスマス・メルヘン『アリス』

2008年の開館以来、小劇場空間を活かして、子どもから大人まで誰もが楽しめる作品を提供する、せんがわ劇場定番のクリスマス公演。主に海外の名作を基にしたオリジナル作品を上演している。今年は、『不思議の国のアリス』を原作に、ことば遊びやパロディ、ナンセンスといった奇想天外な世界観が音楽やダンスを絡めて繰り広げられる。観劇した子どもたちには、サンタクロースからのプレゼントも。

☎調布市せんがわ劇場
Tel. 03-3300-0611

●横浜市 12月15日
親子のためのワンダー・キナー・クリスマス・コンサート2018

ファゴット奏者・浅野高瑛のプロデュースにより、全国で1,700回以上の公演を重ねる親子向けコンサート「ワンダー・キナー・コンサート」のクリスマス公演。若手演奏家グループ「ハートフル・フレンズ」が三浦秀秋作曲のオリ



ホワイエでの楽器体験

ジナル新曲などバラエティに富んだ楽曲を奏でる。終演後はミニ楽器体験コーナーも開設。

☎青葉区民文化センター フィリアホール Tel. 045-985-8555

●川崎市 12月22日

MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2018

日本最大級のパイプオルガンをフィーチャーした恒例のクリスマスコンサート。今年はホールアドバイザーのオルガニスト・松居直美が企画。アメリカのクリスマス劇として古くから親しまれている名作『もう一人の博士』を題材に、SPACの協力(監修:宮城聡、構成・演出:大岡淳、俳優:奥野晃士、宮城嶋遥加)による朗読劇を織り交ぜ、言葉と音楽でクリスマスを彩る。

☎ミュージアザ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

●新潟市 12月13日

りゅーとびあ★オルガン・クリスマスコンサート2018

専属オルガニスト・山本真希による恒例のクリスマスコンサート。今年はゲストにソプラノ歌手・鷲尾麻衣とサクソ奏者・平野公崇を迎え、異色のトリオがクラシックや讃美歌、ポップスも取り入れたバラエティに富んだプログラムを演奏する。

☎りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-5521

●石川県金沢市 12月9日
クリスマス・メサイア公演

『メサイア』を歌うためだけに結成され、戦後間もない頃から演奏を続けている北陸聖歌合唱団による伝統のクリスマスコンサート。管弦楽は19回目の共演となるオーケストラ・アンサンブル金沢(柳澤寿男指揮)。今年は記念すべき70周年記念公演として『メサイア』を全曲演奏する。

☎石川県立音楽堂
☎石川県音楽文化振興事業団
Tel. 076-232-8111

●長野県松本市 12月15日
オルガンが奏でるクリスマス

クリスマス・キャロルや聖歌などクリスマスにちなんだオルガン音楽を集めて贈るコンサート。ホールオルガニスト・原田靖子と浅井愛(リコーダー)が奏でる名曲とキャンドルの灯がゆらめく中、横田ゆうわの語るクリスマスの物語が伝えるメッセージに思いを馳せる。

☎松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)
Tel. 0263-47-2004

●長野県軽井沢町 12月2日

軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ クリスマスコンサート

ホールで活動する合唱団とオーケストラによる恒例のクリスマスコンサート。両グループとも年間を通じてホールだけでなく近隣の施設やイベントでのお出かけ演奏会など積極的な活動を展開。毎年12月にそれぞれの成果を披露するほか、クリスマスにちなんだ名曲を合同演奏する。ロビーでは楽器体験も実施。

☎軽井沢大賀ホール
Tel. 0267-42-0055

●愛知県知立市 12月15日
愛知県立芸術大学オペラ公演2018 歌劇《シンデレラ》(サンドリヨン)

愛知県立芸術大学との提携事業の柱として行っているオペラ公演。愛知芸大では「総合芸術プロジェクト」として、美術学部による舞台制作、音楽学部による管弦楽・合唱など総力を結集したハイレベルなオペラ公演を県下の公立ホールとの共催で毎年開催している。6年目の今回は

ジュール・マスネが作曲した『サンドリヨン』(シンデレラ)を上演。
㊤パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) Tel. 0566-83-8100

●京都府八幡市 12月16日
京フィルクリスマスコンサート2018「サンタウサギのおんがくかい」
毎年恒例の京都フィルハーモニー室内合奏団によるクリスマスコンサート。コンサート終了後にはロビーで京フィルメンバーが教える弦楽器体験ができる。
㊤八幡市文化センター Tel. 075-971-2111

●奈良県奈良市 12月22日
～親子で楽しむ～よちよちコンサート
歌と楽器のお姉さん・お兄さんと共に、親子で聞いて、歌って、一緒に楽しむコンサート。3回目を迎える今回は、開館20周年記念事業として開催。クリスマスソングやクラシック音楽、童謡などを中心に演奏。カスタネットやタンバリンなどで子どもたちも参加できるコーナーも。
㊤なら100年会館 Tel. 0742-34-0100

●鳥取県倉吉市 12月24日
第16回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2018メイン事業「ヘンゼルとグレーテル」
「鳥取県総合芸術文化祭・とりアート」のメイン事業として行われるオペラ公演。今回はファンペーディングが作曲した『ヘンゼルとグレーテル』を上演。オーディションで選ばれたソリストや演奏家、スタッフなど鳥取オペラ界の力が結集し、クリスマスにふさわしい舞台をつくり上げる。
㊤倉吉未来中心 ㊤とりアートオペラ公演実行委員会事務局(倉吉市文化活動センター内) Tel. 0858-23-6095

●広島県福山市 12月16日
リーデンローズ・クリスマス・ガラ・コンサート
「リーデンローズ音楽宅配便」で小中学校でのアウトリーチ活動を行ってきた地元アーティストによるコンサート。8組12名の登録アーティストが一堂に会して、ゲストの廣田美穂(ソプラノ)、村上敏明(テノール)との共演で、グノーのアリアや『愛燦々』『リベルタンゴ』などバラエティに富んだプログラムでクリスマスを祝う。
㊤ふくやま芸術文化ホールリーデンローズ ㊤ふくやま芸術文化振興財団 Tel. 084-928-1800

●香川県高松市 12月22日
サンポートホール高松 音楽お届け便「クリスマスコンサート」
こども未来館や高松市中央図書館など他の市立文化施設で香川ゆかりの音楽家によるコンサートを開催することで、サンポートの活動をPRするとともに、市民に鑑賞の機会を提供する企画。2回目の今回は、こども未来館のプラネタリウムで開催。香川県出身の小川聡(トランペット)と西紋和希(ピアノ)が聖夜の星空にクリスマスの音色を奏でる。
㊤高松市こども未来館 ㊤高松市文化芸術財団 Tel. 087-825-5010

●香川県丸亀市 12月15日、16日
丸亀こがMIMOCA キッズデイ 貼って遊ぼう べたべた!クリスマス
毎年開催している親子向けワークショップ。造形スタジオの壁いっぱいには貼られた大きなツリーやお星様に、丸・三角・四角のビニールや色画用紙などを自由に貼り付け、思い思いにクリスマスを表現する。申し込み不要・無料で気軽に参加できる。
㊤丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 Tel. 0877-24-7755

●徳島県吉野川市 12月16日
クリスマスコンサート2018
徳島県出身で国内外で活躍する若手クラシックギター奏者・徳永真一郎が、最高のギタリスト兼作曲家ともいわれたアグスティン・バリオスの『クリスマスの歌』など、クリスマスにちなんだプログラムを演奏。バロック時代のリュートとよく似たアコースティックな響きを楽しむことができる。
㊤吉野川市文化研修センター ㊤NPO法人吉野川市文化協会 Tel. 0883-22-0015

●大分県大分市 12月14日～16日
HEart OF Christmas! 2018
芸術文化ゾーンを中心に、さまざまなアートイベントが行われる。6回目の今年は県内トップクラスの中高プラスバンドによる「大分県中高校生芸術文化祭(ミラ☆スタ)」に福岡の名門・精華女子高校吹奏楽部が特別参加。ほかにも映画上映やバックステージツアー、特設ステージでのパフォーマンスなどが行われる。
㊤iichiko総合文化センター、大分県立美術館 ㊤大分県芸術文化スポーツ振興財団 Tel. 097-533-4007

●沖縄県那覇市 12月23日
沖縄県立芸術大学有志が贈るミュージアムコンサート「君を追う旅—新海誠の調べ—」
開催中の「新海誠展『ほしのこえ』から『君の名は。』まで」(12月18日～2019年2月3日)に合わせ、沖縄県立芸術大学音楽学部の学生が企画したコンサート。新海作品で表現されてきた「美しく壮大な世界ですれちがう男女の物語」に沿って、“恋愛”をテーマに美しい音楽を届ける。
㊤沖縄県立博物館・美術館(おきみゆー) Tel. 098-941-8200

年越し・新春企画

●宮城県加美町 1月20日
バッハホール管弦楽団2019ニューイヤーコンサート
バッハホール管弦楽団3回目となるニューイヤーコンサート。指揮に中川賢一を迎え、第1部ではJ.シュトラウスⅡを特集、第2部では名曲セレクションを披露する。鵜木絵里(ソプラノ)も出演し、新年の幕開けにふさわしい華やかなステージを演出するほか、バッハホール音楽院在籍の3歳から中学生までの約20人が特別出演する。
㊤加美町 中新田バッハホール Tel. 0229-63-7367



2017ニューイヤーコンサート(指揮:中川賢一)

●茨城県日立市 1月13日
第21回 ニューイヤーオペラコンサート～魅惑のハンガリー・オペレッタの旅～
前回までのオペラ中心の公演から内容を変え、『こうもり』『メリーウィドウ』『チャルダッシュの女王』などオペレッタ作品を中心に上演する。コンサートには、地元の「ひたちオペラ合唱団」も参加。公演のPR活動や、本番の舞台サポート、フロントスタッフを市民が支えるなど、ホールと市民が連携した取り組みとなっている。
㊤日立シビックセンター ㊤日立市民科学文化財団 Tel. 0294-24-7720

●茨城県つくば市 12月29日
第13回つくばで第九
恒例の第九公演。合唱の指導

者や舞台スタッフ、オーケストラメンバーらで運営委員会が組織され、毎年さまざまな立場の人たちが結束して実施されている。今年度は新たに国内外で活躍する指揮者・珠川秀夫を迎え、公募による市民合唱団には15歳から86歳までの約130人が約半年間練習を重ねて舞台に立つ。

☎ノバホール
 ㊦つくば文化振興財団
 Tel. 029-856-7007

●栃木県大田原市 1月6日
那須野が原ハーモニーホール・ニューイヤーコンサート
 2013年に国内初となるフランス・シンフォニック式のパイプオルガンが設置された那須野が原ハーモニーホール。今回は、各地で活躍するアーティストのピアノとオルガンの演奏に加え、ホール開館25周年特別企画プレ公演として、那須野が原に伝わる伝承を下敷きに制作されたオペラ『那須與一』ハイライト公演が行われる。

㊦㊦那須野が原ハーモニーホール Tel. 0287-24-0880

●埼玉県和光市 1月20日
サンアゼリア吹奏楽フェスティバル 第7回ニューイヤーコンサート in 和光
 陸上自衛隊東部方面音楽隊と、同音楽隊が演奏指導を行った和光市内の小学校、中学校、高校および和光市民吹奏楽団有志など7つの吹奏楽団体が、集大成としての共演コンサートを行う。曲目は、『センチュリア』『翼をください』など。さまざまな



昨年度(第6回)の様子

世代やプロの奏者との交流を促し、吹奏楽を通して地域文化の振興と次代の文化芸術の担い手の育成を図る。

☎和光市民文化センター・サンアゼリア ㊦和光市文化振興公社 Tel. 048-468-7771

●埼玉県富士見市 1月26日
ニューイヤーコンサート2019 前橋汀子カルテット
 トップバンホールのプロデューサー・西巻正史氏と共に、実績や才能豊かなアーティストを招聘して良質な音楽を届ける「キラリふじみ・コンサートシリーズ」。今回は、シリーズの幕開けを飾ったヴァイオリニスト・前橋汀子を再び迎え、近年精力的に挑むベートーヴェンの弦楽四重奏曲を、日本を代表する弦楽器奏者と共にカルテットで演奏する。

㊦㊦富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ Tel. 049-268-7788

●千葉県市川市 1月27日
いちかわニューイヤーフェスティバル2019
 「一流のアーティストが公演した舞台を体験してみませんか?」と呼び掛け一般公募から集まった10組の団体による、子どもから大人まで楽しめる祭典。チアダンスやジャズダンス、和太鼓や口笛アンサンブル、トロンボーンデュオ、バンド演奏など、さまざまなパフォーマンスが行われる。第31回新人演奏家コンクール受賞者も特別出演。

☎市川市文化会館
 ㊦市川市文化振興財団
 Tel. 047-379-5111

●東京都世田谷区
 12月19日～1月20日
眞田岳彦ディレクション 祝いの衣服 赤をめぐる旅展 vol.3 文様を訪ねて
 衣服造形家・眞田岳彦が縄文時

代から古墳時代の文様を中心にリサーチを行い、そこからインスピレーションを受けて制作した衣服造形作品や祝事にまつわる品々を展示する。2年かけてシリーズ展開してきた集大成の展覧会で、平成最後のお正月に日本の根源的な祝いの文化を考える。

㊦㊦世田谷文化生活情報センター 生活工房 Tel. 03-5432-1543

●横浜市 12月29日
ファンタスティック・ガラコンサート2018
 オペラからバレエまで一挙に上演する年末恒例の華やかなコンサート。2018年の日仏160周年にちなみ、フランスをテーマにプログラム。指揮は初回から出演をしている松尾葉子、司会は宮本益光(バリトン)。日本を代表するアーティストから注目の若手までが集結し、年越しを彩る。

㊦㊦神奈川県民ホール
 Tel. 045-633-3721

●富山県南砺市 1月1日
ヘリオス元旦コンサート
 1994年に始まり26回目となる元旦恒例のコンサート。ヘリオス常任ピアニストの岡田知子がプロデュースを務め、今年は上島緑(メゾソプラノ)、マルモ・ササキ(チェロ)をゲストに迎える。クラシック音楽ファンを盛り起こすことを目的に実施され、岡田による曲目や作曲家、時代背景など演奏をさらに楽しむためのトーク付き。

㊦㊦南砺市福野文化創造センター「ヘリオス」
 Tel. 0763-22-1125

●静岡市 1月27日
グランシップ静岡能
 「日本を知ろう!」をテーマに日本の伝統芸能を多角的に紹介している「グランシップ伝統芸能シ

リーズ」のひとつとして、本格的な能楽を上演する新春恒例のプログラム。能の演目が後に歌舞伎や文楽でも上演される事例に注目し、『義経千本桜』に関連した能『安宅』を上演。源義経・弁慶一行が奥州に向かう際に難局を乗り越えた場面が見どころ。

㊦㊦静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
 Tel. 054-289-9000

●静岡県沼津市 1月20日
第2回ぬまづニューイヤー・ガラコンサート
 地元ゆかりの演奏家による、クラシック音楽を身近に感じて気軽に聴ける新春コンサート。昨年に引き続き出演する海瀬京子と、新井瞭の両ピアニストによる2台のピアノのためのソナタのほか、芹澤卓弥(指揮)、伏見聡子(オーボエ)、東駿河混声合唱団やHibiki Chamber Orchestraによる名曲コラボレーションをお届けする。

㊦㊦沼津市民文化センター
 Tel. 055-932-6111

●静岡県掛川市
 12月1日～1月18日
第19回 平成最後の掛川ひかりのオブジェ展
 今年で19回目を迎え、掛川の冬の風物詩としても定着しつつあるライトアップイベント。市民手づくりの温かみのあるオブジェが掛川のまちを彩る。学生には制作費用の補助制度を設け、親子向けとして夏にワークショップも開催し、参加作品の中から市民投票などにより大賞を選ぶことで、多くの市民に参加しやすい機会を提供している。

㊦ひかりのオブジェ通り(掛川駅から連雀西交差点までの街路樹脇) ㊦掛川ひかりのオブジェ実行委員会
 Tel. 090-7028-3225

●愛知県豊田市 1月12日

新春能

新春恒例の能・狂言公演。醍醐天皇の臣下が、琵琶湖に浮かぶ靈験あらたかな竹生島弁才天を目指す能『竹生島』(宝生和英ほか)。「笑う門には福来たる」そのままの人間味あふれる福の神が登場する狂言『福の神』(山本則俊ほか)を上演。終演後はロビーで樽酒のふるまいが行われ、年の初めを祝う。

☎豊田市能楽堂
Tel. 0565-35-8200

●滋賀県大津市 12月31日

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート 2018-2019

毎年恒例、会場が一体となって新年を迎えるカウントダウンコンサート。指揮の沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)、司会の桂米團治、独唱・合唱でびわ湖ホール声楽アンサンブルに加え、実力派ヴァイオリニスト・戸田弥生を迎えて、岩田達宗演出による多彩なプログラムをお届けする。公募のジルヴェスター合唱団、ファンファーレ隊もステージを盛り上げる。

☎滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7136

●大阪市 12月31日

初心者の上の方伝統芸能ナイト 大晦日スペシャル

大阪は、能楽や狂言、文楽、落語、講談など豊かで多彩な芸能が生まれ、途切れることなく上演され続けてきた他に類を見ない「芸能の都」。その中から厳選した演目を、初心者や外国人でも楽しめるよう、ハイライト部分を上演。特に今回は大晦日スペシャルとして五大芸能が競演し、新年を祝う。

☎山本能楽堂
Tel. 06-6943-9454

●兵庫県西宮市 12月31日

ジルヴェスター・ミュージカル・コンサート パーンスタイン・オン・ブロードウェイ!

大晦日を豪華に祝う恒例のコンサート。今年は佐渡裕芸術監督の師、パーンスタイン生誕100年を記念した特集で、『ウエスト・サイド・ストーリー』『オン・ザ・タウン』ほかブロードウェイ・ミュージカルの名曲を一挙にお届けする。メトロポリタン歌劇場で活躍するなど注目の歌手陣を迎え、総勢8名のキャストが多彩なナンバーを歌い上げる。

☎兵庫県立芸術文化センター
Tel. 0798-68-0255

●神戸市 1月5日

青春落語道場 大倉亭新春寄席2019

買い物帰りなどに気軽に立ち寄り、落語に親しんでもらうことを目指して、2014年から行われているロビー寄席の新春特別公演。神戸ゆかりの次世代落語家に発表の場を提供し、経験を積んで成長してもらう場にもなっている。さまざまなロビー企画も行われるほか、今年は特別ゲストに桂春團治を迎え、新春を盛り上げる。

☎神戸文化ホール
Tel. 078-351-3535

●兵庫県三田市 1月5日

SATONONEレジデンシャル・アーティスト ニューイヤーコンサート2019

恒例のニューイヤーコンサートを、今回は三田市および近郊の演奏家としてホールが支援・育成しているSATONONEレジデンシャル・アーティストに焦点を当てて実施。サクソフォン、ソプラノ、サクソフォン&打楽器の3組による多彩な演奏に加え、全国レベルを誇る地元北摂三田高校邦楽部を特別ゲストに招き、箏による正月らしい演奏を披露する。

☎三田市総合文化センター郷の音ホール Tel. 079-559-8101

●島根県益田市 1月11日~13日

グラントワ・カンタート2019

日本各地の合唱団と韓国と中国からのゲストが集結する3日間で、今年度で3回目の開催となる。作曲家、指揮者、声楽家の発言を元に日本語と合唱の魅力を探る『【まなぶ】レクチャー』や美しい日本語合唱を研究する『【あゆむ】コンクール』、日本と韓国と中国の合唱団が歌い合う『【つなぐ】フレンドシップコーラスコンサート』などを通して、「日本語の歌」を深める。

☎島根県芸術文化センター「グラントワ」 Tel. 0856-31-1860



グラントワ・カンタート2018コンサート合同演奏の様子

●岡山県真庭市 12月23日

エスパス第九演奏会

第九演奏会のために結成された県内外の演奏家で結成する「エスパス第九管弦楽団」と市民公募の「エスパス第九合唱団」による恒例の演奏会。9歳から70歳までの約80人の合唱団が9月からの練習の成果を披露する。今回は、昨年10月に共演した縁がきっかけで、東京混声合唱団から4名のソリストを招く。

☎エスパスホール
☎真庭エスパス文化振興財団
Tel. 0867-42-7000

●広島県呉市 1月13日

呉市文化ホール開館30周年記念 2019くれニューイヤーコンサート

1992年より実施しているニュー

イヤーコンサート。村松秀明(指揮)と広島交響楽団に、須川展也を迎えて開催。チケット購入者対象の特別企画として、公演前日の須川によるサクソフォンクリニック(学生限定)、公演当日に実施する公開ゲネプロは初めての試み。同日内のリハーサルと本公演での演奏の変化を体験できる貴重な機会。

☎呉市文化ホール
Tel. 0823-25-7878

●山口県防府市 1月11日~14日

第18回防府音楽祭 ほうふニューイヤーコンサート2019

防府市出身のチェリスト・田中雅弘を音楽監督に迎え、2002年にアスピラートをメインホールとして誕生した音楽祭。今回は山口県出身の山野安珠美(箏)と石垣征山(尺八)による和の世界をクローズアップ。市内各所で行われる街角コンサートを皮切りに、「だれでもクラシック~プロムナードコンサート特別ヴァージョン~」などさまざまな音楽があふれる4日間。

☎防府市地域交流センター アスピラートほか ☎防府市文化振興財団 Tel. 0835-26-5151

●福岡市 12月31日

第5回福岡ジルベスターコンサート2018

音楽好きの誰もが参加できる日本唯一の市民参加型ジルベスターコンサート。指揮は昨年同様井田勝大、出演者は3歳~80歳代で、プロアマ合同による大規模オーケストラと、混声合唱による演奏が行われる。今年は『凱旋行進曲』(歌劇「アイダ」より)でカウントダウン。公演後のロビーコンサートや出店、終了後には初詣バスツアーも企画。

☎福岡サンパレスホール
☎福岡ジルベスターコンサート実行委員会 Tel. 090-1366-8112

▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

● データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示しているのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

● 地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

● 情報提供先

ファックス、電話、e-mail でお願います。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 三田・高澤

● 2019年2月号情報締切

2018年12月25日(火)

● 2019年2月号掲載対象情報

2019年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」

掲載情報募集中

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

◎公共ホール等の求人情報

◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jafra.or.jp/>

北海道・東北

● 札幌市

NPO法人コンカリーニョ
〒063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目 ザ・タワープレイス1F

Tel. 011-615-4859 斎藤ちず

<http://www.concarino.or.jp/>

Sapporo Dance Collective by ConCarino 第1作品「HOME」

コンカリーニョが提案する新しい形のダンス作品創造の場「Sapporo Dance Collective」第1弾公演。羊屋白玉(劇作家・演出家)を招き、今年5月からクリエイションを開始。ファミリー・北海道移民時代～近代の生活、9月の地震・大停電などをキーワードにリサーチを重ね、札幌のダンサーと共にさまざまな表現の可能性を追求しつつ練り上げた作品が上演される。

[日程] 12月14日～16日

[会場] 生活支援型文化施設コンカリーニョ

● 仙台市

せんだいメディアテーク

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

Tel. 022-713-3171 清水建人

<https://www.smt.jp/>

ヒスロム 仮設するヒト

“フィールドブレイ”と称した身体を用いた行為を各地で行い、映像や写真、パフォーマンスを制作しているアーティストグループ・ヒスロムの活動を総覧する国内初の大規模な展覧会。アーカイブ的な展覧会であると同時に、せんだいメディアテークの理念や展示空間との対話によって生み出される1,000m²の巨大な展示室を使ったひとつのインスタレーション作品ともなっている。

[日程] 11月3日～12月28日

[会場] せんだいメディアテーク

● 山形県庄内町

響ホール事業推進協議会

〒999-7781 東田川郡庄内町余目字仲谷地280

Tel. 0234-45-1433 岡田勇弥

<https://www.hibikihall.jp/>

町民参加型創造企画オペラ『カルメン』全4幕・日本語上演

前年度に実施した山形県在住の音楽家・川田麻美の『カルメン』ハイライト公演に触発された町民の声に応じて企画したオペラ公演。参加者オーディションに合格した地域住民のほか、町民有志総勢19人がコーラスとして舞台に立つ。上演は日本語で、オペラを見たことがない人にも楽しんでもらい、興味をもってもらうことを狙っている。

[日程] 12月16日

[会場] 庄内町文化創造館「響ホール」

● 福島県福島市

福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1

Tel. 024-531-5511 増淵鏡子

<https://art-museum.fcs.ed.jp/>

生誕130年佐藤玄々(朝山)展

福島県出身の彫刻家、佐藤玄々の県内初の大規模回顧展。木彫やブロンズ、石膏原型、墨画など約100点の公開に加え、代表作・天女像を3D撮影し、映像として紹介。西洋彫刻や日本の古美術の影響を受けながら、日本の伝統木彫が近代彫刻として再構成されていく道程をたどる。関連事業としてポンピドゥー・センターなどからパネリ



《天女(まごころ)像》原型(株式会社三越伊勢丹蔵)と3D映像

ストを招聘し、国際シンポジウムも実施。

[日程] 10月27日～12月16日

[会場] 福島県立美術館

関東

● 千葉県佐倉市

千葉県文化振興財団

〒260 8661 千葉市中央区市場町11-2

Tel. 043-222-0201 時田章央

<http://www.cbs.or.jp>

北総四都市文化紀行

「江戸芸能館 in 佐倉」

江戸とさまざまな形で交流・発展した4都市(佐倉市・成田市・香取市・銚子市)と千葉県東総文化会館(旭市)を会場として、江戸の文化や街並みを巡るさまざまな「文化プログラム」を3年かけて開催する。初年度は12月に佐倉市の商業施設で落語を実施するほか、成田山書道美術館での弦楽コンサートや、成田国際空港で江戸時代から伝わる伝統的な手品「和妻」などが行われる。

[日程] 12月22日

[会場] イオンタウンユーカリが丘

● 千葉県鎌ケ谷市

鎌ケ谷市教育委員会

〒273-0101 鎌ケ谷市富岡1-1-3 ショッピングプラザ鎌ケ谷3F

Tel. 047-441-3377 平沢美奈

<https://www.kirari-kamagaya.jp/>

きらりホール5周年記念 第4回 かがや市民創作ミュージカル『さんらいず』

「人づくり・地域づくり・まちづくり」をテーマにした市民参加型ミュージカル。毎回、鎌ケ谷市を舞台にしたオリジナル脚本を上演し、今回で4回目を迎える。出演する一般公募による小学生から70歳代までの35人が、プロの指導の下、6月から稽古を積み重ねてきた。またボランティアスタッフが稽古の手伝いや、衣装・

小道具の製作を担当するなど、市民の力で熱気あふれる舞台を創造する。

[日程] 12月15日、16日

[会場] きらりホール



稽古の様子

●東京都大田区



大田区文化振興協会

〒146-0092 大田区下丸子3-1-3
(大田区民プラザ内)

Tel. 03-3750-1611 淵脇久子

<https://www.ota-bunka.or.jp/>

【下丸子×演劇ぶろじえくと2018】 区民参加劇『仮名手本忠臣蔵』

区民により身近に演劇に親しんでもらうことを目標に、地元の劇団・山の手事情社と協会が連携して2016年にスタートした3年間の演劇プロジェクト。最終年となる本年は、その集大成として、公募オーディションにより選ばれた16歳から73歳までの40人が全十一段に及ぶ大作『仮名手本忠臣蔵』を上演する。演出は、劇団山の手事情社主宰の安田雅弘。

[日程] 12月15日、16日

[会場] 大田区民プラザ

●東京都世田谷区

世田谷美術館

〒157-0075 世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011 塚田美紀

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

『風が吹かざりずっとーブルーノ・ムナーリのために』

イタリアの美術家・デザイナーのブルーノ・ムナーリの活動の全容を紹介する「ブルーノ・ムナーリ一役に立たない機械をつくった

男]展(11月17日～2019年1月27日)を記念して、ニューヨークを拠点に国際的に活躍するイタリア人振付家・演出家のルカ・ヴェジェッティが、美術家・吉田萌、ダンサー・鈴木ユキオ、竹内英明とコラボレーションした新作を発表する。繊細で遊び心あふれるパフォーマンスが、展示室からエントランス・ホールへ移動しながら繰り広げられる。

[日程] 11月30日、12月1日

[会場] 世田谷美術館



ルカ・ヴェジェッティ photo: Terry Lin

●東京都北区

北とびあ

〒114-8503 北区王子1-11-1

Tel. 03-5390-1100 江川公平

<https://www.hokutopia.jp/>

星×音楽×朗読 星空ショウタイム「宮澤賢治の星めぐり」

プラネタリウム施設として使われていた半球状のドームホールを活用し、星空をテーマにした公演を実施。プロジェクターによる星空の映像に合わせて宮澤賢治作品の朗読と『星めぐりの歌』の歌唱を聞くことができる。天文ナビゲーターによる星空サイエンストークや、ピアノとマリimbaによる演奏などが加わり観客を星空の世界に誘う。

[日程] 12月13日

[会場] 北とびあ

●横浜市

横浜能楽堂(横浜市芸術文化振興財団)

〒220-0044 横浜市西区葉ヶ丘27-2

Tel. 045-263-3055 秦野五花

<http://www.ynt.yaf.or.jp/>

横浜能楽堂普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」

横浜能楽堂が今年から始めた新たなシリーズ公演。“眠くならない”能の曲を選定、上演する。第1回となる今回は『土蜘蛛』。上演前に登場人物や舞台進行など、曲を理解する上で手助けとなるポイントを解説し、華やかな印象が強い『土蜘蛛』の華やかさだけではなく魅力を新たな視点から紹介する。初めて能を見る人にも見巧者にも楽しめる内容となっている。

[日程] 12月16日

[会場] 横浜能楽堂

●神奈川県鎌倉市

鎌倉市芸術文化振興財団

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-5-25

Tel. 0467-23-6405 小林美香

<http://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/>

水野年方没後110年 清方、紡がれる美の系譜一師から弟子へ

鎌倉清方の師、水野年方の没後110年を迎え、年方から清方、そしてその弟子たちへと繋がる美の系譜を紹介する。清方作品のほか、年方作品や弟子たちが清方の金婚式に贈った寄書などを展示。建築家・吉田五十八が設計した画室をこよなく愛した鎌倉清方と山口蓬春の両記念館が連携し観覧料の相互割引や対談イベントなども行われる。

[日程] 12月1日～2019年1月14日



《舞妓》昭和5年(1930) 鎌倉市鎌倉清方記念美術館蔵

[会場] 鎌倉市鎌倉清方記念美術館

北陸・中部

●富山県入善町

入善町文化振興財団

〒939-0626 下新川郡入善町入善3200(入善町民会館内)

Tel. 0765-72-1105 上田智文

<https://www.town.nyuzen.toyama.jp/cosmo/event/kido.html>

木藤純子「Winter Bloom—ふゆにさくはな」

自然の要素をモチーフとして、独自の視点で作品をつくるアーティスト・木藤純子が、昨年の秋から入善町へ入り、リサーチを経てインスタレーションを制作。天井から花びらが落ちて床に蓄積し、天候や時間によって見え方が変化する。元水力発電所という独特の展示空間で、木藤の自然観や美意識を表現する。

[日程] 11月23日～2019年3月24日

[会場] 入善町 下山芸術の森 発電所美術館

●長野県長野市

長野市芸術館

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613

Tel. 026-219-3100 長谷川綾

<https://www.nagano-arts.or.jp/>

長野市芸術館アクトスペース 連続演劇企画 アクト×アクト

2016年に開館した長野市芸術館アクトスペースの実験的演劇公演。芸術館が内包する劇場設備はあらゆる表現に対し、底なし沼のような可能性を備えているブラックボックスであり、その無限の可能性を探る試み。地域で活動する4つの劇団に4日間と三間四方の舞台、舞台技術スタッフを提供することで、集いの場を創造することを目指す。

[日程] 12月6日～8日、23日、24

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

日、2019年1月19日、20日
[会場]長野市芸術館

●長野県長野市、伊那市、東京都中央区
信州ザワメキアート展2018実行委員会事務局
〒381-0008 長野市下駒沢586
Tel. 026-295-3441 佐藤憲司
<http://zawameki-art.com/>

ザワメキアート展2018～信州の障がいのある人の表現とアート・ブリュット～

障がい者の創作活動の発信の場と障がい者の創作した芸術作品を県民が広く鑑賞する機会を設け、その優れた芸術性や創造性に対する認識を高め、また障がい者の文化芸術活動の振興を図るべく開催する展覧会。長野市、伊那市の文化施設および東京・銀座において巡回展示やギャラリートーク、ワークショップなどを行う。

[日程・会場] 12月7日～20日：ホクト文化ホール/2019年1月10日～22日：伊那文化会館/2月21日～23日：銀座NAGANO

●名古屋市

名古屋市文化振興事業団
〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1
Tel. 052-249-9387 宮田健秀
<http://www.bunka758.or.jp/>

子どもアート万博2018

複合施設であるナディアパークのアトリウムや、青少年文化センターのホール、スタジオなどさまざまなフロアで、演劇・舞踊・音楽・大道芸など、世界のパフォーマンスが行われるイベント。子どもたちやその家族が、各国のパフォーマンスやアートを気軽に体験・参加できる場を設け、文化芸術や国際交流への興味をもつ契機として実施し、今年で2年目となる。

[日程] 12月8日、9日

[会場] ナディアパーク

●愛知県碧南市

碧南市藤井達吉現代美術館
〒447-0847 碧南市音羽町1-1
Tel. 0566-48-6602 大長悠子
<http://www.city.hekinan.aichi.jp/tatsukichimuseum/>

碧南市制70周年記念事業 開館10周年記念 愉しきかな! 人生—老当益壮(老いてますます盛ん)の画人たち

超高齢社会に向けて、老いやそれにまつわる問題と前向きに向き合おうと企画された展覧会。熊谷守一や片岡球子など、90歳を過ぎても旺盛な制作活動を行った明治期以降の14名の長寿作家の作品67点を展示。併せて認知症の方向けのアート鑑賞プログラムや、介護をテーマにした創作講演など、意欲的なイベントも展開する。

[日程] 10月30日～12月16日

[会場] 碧南市藤井達吉現代美術館



富岡鉄斎(福祿寿図)(1923年/碧南市藤井達吉現代美術館蔵)

●愛知県長久手市

長久手市文化の家
〒480-1166 長久手市野田農201
Tel. 0561-61-3411 柳瀬祐美
http://www.city.nagakute.lg.jp/bunka/ct_bunka_ie.html

Credo(クレド)—信じる—& Necessitudo(ネセシテウド)—関係性—工藤聡振付作品

愛知県出身で現在はスウェーデンで活躍するダンサー・振付家、工藤聡によるダブルビル公演。豊橋市、穂の国とよはし芸術劇場PLATにレジデンス協力を得て、世界初演2作品を上演する。工藤のほか、豊永洵子(文化の家舞踊系創造スタッフ)、村田勇人、クレア・カムース(フランス)が出演。「人間関係」をテーマに、映画や演劇のようなドラマティックな舞台を展開する。

[日程] 12月14日

[会場] 長久手市文化の家

●愛知県武豊町

ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)
〒470-2555 知多郡武豊町字大門田11
Tel. 0569-74-1211 吉村浩章
<http://www.town.taketoyo.lg.jp/kaikan/>

武豊町民劇団TAKE TO YOU

『玉手町ロックンロール探偵団』

ゆめたろうプラザを拠点に、「町民による町民のためのミュージカル」をモットーに活動する町民劇団の定期公演。劇団には小学4年生から60歳代まで幅広い年齢層の39人が在籍。今回は、武豊町発祥の浦島太郎伝説に迫る謎解きミステリーを、ロック音楽と楽しいダンスに乗せてお届けする。

[日程] 12月15日、16日

[会場] ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)



武豊町民劇団TAKE TO YOU 2017年度定期公演『歌え! 汽車ポッポ! 武豊ハイカラレールウェイ! 武豊線物語』

近畿

●三重県津市

三重県総合文化センター
〒514-0061 津市一身田上津部田1234
Tel. 059-233-1100 堤佳奈
<https://www.center-mie.or.jp/bunka/>

OiBokkeShi×三重県文化会館 老いたら遊ぼう! 老いのプレーパーク 発表公演『老人ハイスクール』

老若男女19～90歳の公募メンバーと俳優・介護福祉士の菅原直樹(OiBokkeShi主宰)がつくり上げる“老い”をテーマとする創作演劇。2017年より実施している『「介護を楽しむ」『明るく老いる』アートプロジェクト』の一環として、発表公演を行う。2015年に上演された老人ホーム青春群像劇『老人ハイスクール』が、公募メンバー(老いプレメンバー)によるショートパフォーマンスも盛り込まれ、生まれ変わって登場する。

[日程] 12月22日、23日

[会場] 三重県文化会館



ワークショップで“とっておきのエピソード”を披露する老いプレメンバー

●滋賀県甲賀市

滋賀県立陶芸の森 陶芸館
〒529-1804 甲賀市信楽町勅旨2188-7
Tel. 0748-83-0909 鈎真一
<https://www.sccp.jp/>

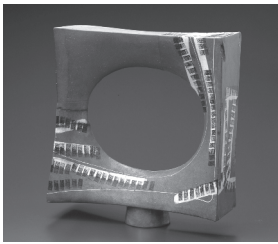
信楽に魅せられた美の巨匠たち

富本憲吉や北大路魯山人、岡本太郎ら信楽とゆかりのある芸術家たちが、信楽焼のどこに心をもち、どのような足跡を残したのかを検証する展覧会。彼らの代表作や信楽で制作した作品などの展示を通して、そこから

見える芸術家としての理想など、13人13様の信楽との関係性を紹介する。

[日程] 10月6日～12月20日

[会場] 滋賀県立陶芸の森 陶芸館



鈴木治《作品》(1950-59年/滋賀県立陶芸の森 陶芸館蔵)

●京都市

京都市音楽芸術文化振興財団
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

Tel. 075-771-6051 国枝かつら

<https://rohmtheatrekyoto.jp/>

ロームシアター京都×京都市文化
会館5館連携事業 地域の課題
を考えるプラットフォーム

CIRCULATION KYOTO—劇場編

ロームシアター京都が市内の5つの文化会館と連携。5組のアーティスト(中野成樹+フランケンズ、村川拓也、相模友士郎、遠山昇司、きたまりほか)が各文化会館の地域を出発点に新作を創作、4カ月間にわたって連続して発表する。京都という都市のすがたを独自の切り口と方法論で象るとともに、地域における劇場の役割や可能性を改めて考える。
[日程] 12月1日～2019年3月24日
[会場] 京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市東部文化会館、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館

●奈良県奈良市

奈良市アートプロジェクト実行委員会

〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1(奈良市文化振興課内)

Tel. 0742-34-4942 小谷・一柳

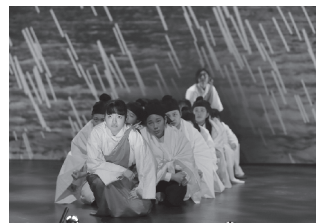
<https://kotohogunara.jp/>

古都祝奈良 青少年と創る演劇
『ならのはこぶね』

東アジア文化都市2016奈良市にて好評を博した同演目を新たなキャストで上演。今回は、オーディション等により奈良県を中心に21人の中高生が参加、11月から基礎稽古を積み重ね本番に臨む。演劇経験もさまざまな中高生たちが力を合わせて作り出す舞台と、参加する中高生の個性を基に作品をリニューアルした演出家・田上豊の脚本と演出も見どころ。

[日程] 12月23日

[会場] 奈良市ならまちセンター



『ならのはこぶね』平成29年度公演

●奈良県天理市

天理AIR実行委員会

〒632-8555 天理市川原城町605(天理市文化振興課内)

Tel. 0743-63-9272 小泉・呉山

<http://tenri-tarn.tumblr.com/>

ペ・ビョンウク/横山大介グループ展[SITES]

〔(仮称)奈良県国際芸術家村〕が天理市内に2021年(予定)整備されるのを契機にモデル事業として開始したアーティスト・イン・レジデンスプログラムの展覧会。写真家の横山大介、韓国の現代美術作家、ペ・ビョンウクが滞在制作した新作を発表する。展示会場は商店街の空き店舗をリニューアルしたアートスペースで、ここでは今後も市のAIRやワークショップ等を実施していく予定。

[日程] 12月1日～23日

[会場] Art-Space TARN

中国・四国

●島根県浜田市

浜田市教育文化振興事業団
〒697-0016 浜田市野原町

859-1

Tel. 0855-23-8451 門千穂

<http://www.hamada-kodomo-art.com/>

再生アートプロジェクト in 浜田
2018「廃材アート展」

2017年に開催した「新聞紙の変身展」に続き、廃材アートの可能性にスポットを当てた展覧会。ダンボール、金属廃品、古着という3つの素材に着想した3名の作家により美術館で公開制作された作品や、浜田市で収集した生活用品の廃材や子ども服を素材として生まれ変わった作品などを展示する。会期中は身近にある不用品を利用した作品づくりに挑戦するワークショップも開催。

[日程] 10月13日～2019年1月14日

[会場] 浜田市世界こども美術館

九州・沖縄

●福岡市

認定NPO法人ニコちゃんの会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川6-37-8

Tel. 092-863-5903 森山淳子

<http://www.nicochan.jp/>

身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演
『走れ!メロス。』

身体に障がいがある人たちとの演劇活動に取り組んできたNPO法人ニコちゃんの会と、福岡市文化芸術振興財団が連携して昨年開催した「身体に障がいのある人のための俳優講座」の参加者をはじめとした多様なメンバーが出演する新作公演。演出の倉品淳子(劇団山の手事情社)とバラエティ溢れる俳優たちが、実験を重ねながら創作に挑む。

[日程] 12月21日～23日

[会場] ゆめアール大橋

●熊本市

熊本県立美術館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸2

Tel. 096-352-2111 林田龍太

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp/>

変革の煽動者 佐々木耕成
アーカイブ

熊本出身の知られざる画家・佐々木耕成を、1960年代の作品を中心に紹介する、55年ぶりの郷里個展。ほとんど形ある作品が残っていない佐々木の全貌を、作家本人や中心人物として関わっていた前衛美術グループ〈ジャックの会〉関係者への聞き取りや、写真等の資料収集など、約4年にわたる調査のもと明らかにする。2000年代の近作・最新作も紹介され、この展覧会を機に、今後も資料や作品を収集していく予定。

[日程] 10月6日～12月16日

[会場] 熊本県立美術館本館

●鹿児島県鹿児島市

鹿児島県文化振興財団

〒892-0816 鹿児島市山下町5-3

Tel. 099-223-4221 竹下陽子

<http://houzanhall.com/>

かごしま明治維新博イベント
県民による創作演劇『西郷どんがやってきた〜あとを継ぐもの〜』

平成22年度に鹿児島出身のドラマ演出家・故大山勝美氏の総合演出で自主制作・上演された創作演劇を、明治維新150周年を迎える本年、記念公演として再演する。地元出身の演出家や脚本家と連携し、出演者、スタッフを公募オーディションにより決定した県民参加型の創作演劇。12歳から69歳までの県民41人のほか、鹿児島県ゆかりの俳優2名が参加し、28回の稽古の成果を披露する。

[日程] 2019年1月5日

[会場] 宝山ホール

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●平成31年度ステージラボ開催地のお知らせ

ステージラボは、公立文化施設等の職員を対象にした少人数形式の実践的な研修事業で、毎年開催しています。

平成31年度は、前期(2019年6月下旬)に

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ(埼玉県富士見市)で2コースを実施します。後期(2020年2月下旬)は、東北地方で実施の予定です。詳細は決定次第、当覧でお伝えします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

地域創造では、全国の市町村長を対象に、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、年2回「市町村長特別セミナー」を実施しています。今年度2回目となるセミナーは滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所(JIAM)との共催により文化・芸術に関する講演と音楽アウトリーチを身近に経験していただくミニコンサートを実施しました。

今回の市町村長特別セミナーは11月1日、2日の2日間で開催しました。

1日目のミニコンサートでは地域創造おんかつアーティストの金管五重奏BUZZ FIVEが演奏を披露しました。BUZZ FIVEは経験も豊富で、全国の小学校などで音楽の魅力を発信し続けています。コンサートには他のセミナー受講者を含め70名を超える方が参加し、それぞれの楽器の個性など、軽快な説明とともに金管楽器の迫力や繊細さを身近に感じ、アウトリーチを実体験していただく貴重な機会となりました。

2日目の講義では「地域文化の振興～地域資源を生かした文化創造都市を目指して」と題し、上田市前市長の母袋創一さんによる文化芸術拠点を生かした同市のまちづくりを紹介。母袋さんは「まちづくりのことを考えると、文化行政は教育委員会に任せず、市長部局が主体的に担うべきだ」と上田市交流文化芸術センター サントミュージーゼの活動とこれまでの軌跡について話しました。

市が直営管理するサントミュージーゼはホールのほかに上田市立美術館を併設、演奏会や学生による演劇創作活動や子どもの美術創作活動を実施

しており、「今後社会で求められる自己表現が豊かな人材の育成に繋がっている」とその効果を発表。またセンター整備後に中心市街地で起きた街の活性を紹介し、「モノを売る”のではなく”コトをなす”まちづくりを進めてほしい」と語りました。

受講生の方々からは「文化による活性化やリーダーシップの重要性など、今後自分の自治体でも取り入れていきたい」「文化・芸術の社会的価値と拠点施設の役割について再度考えさせられた」などの声が寄せられました。



上:BUZZ FIVEによるミニコンサート/下:上田市前市長・母袋創一さんによる講義

●平成29年度事業報告書 ウェブサイト公開のお知らせ

平成29年度各事業報告書をウェブサイトで公開しています(PDF版を閲覧・ダウンロード可能です)。

「出版物・報告書」→「事業報告書」

http://www.jafra.or.jp/j/library/business_report/

地域創造が運営しているウェブサイトは、地域の文化・芸術に関する情報をより広く提供することを目的に、当財

団の概要・事業紹介のほか、地域創造レターや雑誌「地域創造」、調査研究報告書を掲載し、地域の最新の動向・活動等をお伝えしています。また各事業の申請書や様式をダウンロードすることができます。

地域における文化・芸術活動の情報収集、公立文化施設の活性化や芸術環境づくりにぜひご活用ください。

●ステージラボに関する問い合わせ
芸術環境部 高澤・勝田・三田
Tel. 03-5573-4068

●市町村長特別セミナーに関する問い合わせ
芸術環境部 菊地・仕田
Tel. 03-5573-4064

1万人アンケートで若年層の文化行動が明らかに

制作基礎知識シリーズ Vol.44

若年層の文化行動① ジャンルにとらわれない若者たち

(公財)東京都歴史文化財団調査結果より

講師 山名尚志
(株式会社文化科学研究所代表)

●公益財団法人東京都歴史文化財団「首都圏若年層の文化行動・文化意識」

【調査方法】ウェブ調査パネルを用いたインターネット調査

【調査対象】1都3県居住者の18～39歳の男女

●プレ調査(本調査の条件に則った条件のサンプルを抜き出す調査) 10,000サンプル

●本調査(下記①～③の3つの条件に則ったサンプルに対する調査) 3,000サンプル

①過去1年間に文化関係の何らかのイベントに参加、②都立文化施設平均に合わせてサンプル数の都内・都外比率を設定(神奈川県・千葉・埼玉の比率については人口比例)、③男女年齢比率については、各都県における比率を設定

【調査日程】2017年10月10日～19日

【調査項目】

●プレ調査＝性別/年齢/居住地域/過去1年間に文化芸術イベント

●本調査＝(属性)同居家族/職業/普段利用している街、《生活行動》趣味/関心分野/写真撮影の状況、主な目的、《文化施設》行ったことのある施設/施設利用頻度/行かない理由/文化施設に欲しい設備やサービス/欲しい付帯施設やイベント、《文化への興味》各ジャンルへの興味度合い/先端カルチャーの内容/会場のイメージ/クラシックコンサートに行く回数/行かない理由/クラシックが好きになった理由/クラシック関連イベントへの興味/好きな時代/好きな歴史文化の楽しみ方、《情報源》文化イベントの情報源/SNSの利用状況と利用しているSNS名/閲覧している新聞・雑誌/閲覧しているウェブサイト【分析手法】通常の単純集計、クロス集計に加え、多様な文化・趣味・消費行動から若年層の行動特性を抽出していくため、多変量解析を実施

*ウェブ調査パネルとは、各種のアンケートに回答意向がある生活者をウェブサイトに予め登録させておき、アンケートの必要性が出てきた時に、調査依頼を行って回答してもらう仕組みのこと。幾つかの事業者が提供しており、国内で100万人規模のパネルも複数存在する。

自施設の観客が高齢化してきているのではないかという危機感を覚えている文化施設の担当者は少なくないだろう。少子高齢化が進む中、一定の高齢化は致し方ないとはいえ、観客の過半が高齢者ということになっていけば、施設自体の将来性にも大きな懸念が生じてくる。では、どのような対策を打っていけばいいのか。何をすれば若年層を自施設に惹きつけることができるのか。

東京都の美術館、劇場・ホールの指定管理者となっている(公財)東京都歴史文化財団では、2017年、この課題に一から取り組むため、大規模な若年層対象の市場調査を行った。今回の制作基礎知識では、同財団から提供されたこの調査結果のデータを紹介するとともに、そこから読み取れる全国の公共施設の運営に資するポイントを、3回にわたって紹介していく。なお、同財団から提供していただいたのは結果データのみであり、解釈については筆者個人によるものであることを最初にお断りしておく。

●調査手法の紹介 ～1万人と3,000人の大規模調査

今回の調査の最大の特徴は、そのサンプル数の多さにある。調査は、民間のウェブ調査パネル(*)を用い、17年10月に2段階にわたって行われた。第1段階は、首都圏(1都3県)の18歳から39歳までの若年層1万人に対するプレ調査。ここでは、基本的な属性に加え、「過去1年間に行ったことのある文化関係のイベント」についての実態を聞いている。第2段階では、第1段階調査から、過去1年間に何らかの文化関係イベントに行ったことのある人3,000人を抽出し、さらに細かく若年層の文化行動について調査している。

文化関係でよく引き合いに出される市場調査として(公財)日本生産性本部余暇創研の「レジャー白書」がある。同白書のサンプル数は、全国15歳～79歳の男女をすべて合わせて3,000人強に過ぎない。若年層に絞り、かつ文化行動について詳細に聞いたアンケート調査としては、今回の調査は、希に見る大規模な調査となっているのである。

●プレ調査の手法のポイント～35の選択肢で若者の文化活動を網羅的に把握

プレ調査では、1都3県1万人の若年層(18～39歳)が、過去1年間の間、どのような文化イベントに行ったのか、その実態を聞いている。設問のポイントは、その選択肢の“細かさ”にある。通常、文化の鑑賞についての設問では、選択肢は、コンサート、観劇、伝統芸能、美術展などに大きく括られてしまっている。しかし、近年、急激に拡大している文化イベント、例えばロック・フェスやアート・フェスへの参加は、こうした選択肢ではこぼれてしまう。同様に、声優などのアニメ系のイベントや2.5次元ミュージカル、あるいはクラブ・シーンなども対象外となりがちである。大括りの、あるいは昔からある選択肢でのアンケート調査では、旧来の文化活動しかとらえられず、若年層ならではの活動が見逃されてしまいがちなのだ。

これに対し、この東京都歴史文化財団が実施した調査の選択肢では、文化イベントの選択肢を35に細分化し、「ロックフェスは?」「アニメ・声優イベントは?」と一つひとつ提示することで、多様に広がる若年層の文化活動をできるだけ網羅的に拾い上げている。1万という大規模サンプルに加え、こうした選択肢の細かさも他にない今回調査の特徴となっている。

●結果データの読み取り ～若者はジャンルにとらわれない

次ページに示したのは、同調査結果による過去1年間に参加した文化イベントのジャンルごとのクロス表である。一番上の行の全体結果自体も、例えば「ポップス・ロック」系コンサートの参加率18.7%に対して、「クラシック」も12.7%と決して少なくない比率になっているなど、いろいろと発見がある。だが最大の見所は、「何らかの文化イベントに参加している若者は、他の文化イベントに対して、たとえそれがどのジャンルであっても、参加していない人よりも見に行っている比率が高い」という結果になっていることだ。

具体的に見ていくと、例えばクラシックに行っている人(1,265人)は、全体に比してポップス・

ロック(全体18.7%に対して38.4%)はもとより、ロックフェス(8.2%に対して22.4%)、さらにはクラブイベント(4.2%に対して15.7%)に対してさえも見に行っている比率が高くなっている。ここから見えてくるのは、金曜の夜にクラブのDJイベントで踊っていた人が、土曜日にホールでクラシックを聴いていても何も不思議ではない、という実態である。

同じことは他のジャンル間でも生じている。昼間に美術館で花鳥風月を楽しんでから夜はお笑いライブに行っている人も、コミケの翌週にクラシックバレエを鑑賞している人も、恐らくは少なからずいる。かつてはあったジャンル間の高い垣根が、今の若者にはあまり見られない。若者たちの文化行動は、ジャンルの狭い枠に囚われたものではなくなっているのだ。

●結果データからの知見 ～ジャンルごとの展開を考え直す

上記の結果データから見えてくることは何だ

ろうか。これまでの公立文化施設の自主事業を見ていくと、ジャンルありきの企画が基本となっている場合が多い。かつてのように、それぞれのジャンルごとにそれぞれのファンがいるのが基本なら、こうした企画のあり方が最も効果的ということになる。クラシックとEDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)を無理に合わせたコンサートを実施しても、それぞれのファンの響感を買っただけで、何のメリットもないからだ。

だが、若年層の集客ということを考えるなら、ジャンルありきの企画は、もしかしたら古くさくなってしまっているのかもしれない。実際、近年は、各種のジャンルを横断したフェスティバルが全国で行われ、多くの若者を惹きつけている。ジャンルごとに若者対策や観客育成を検討するのではなく、文化芸術の面白さというものを、ジャンルにこだわることなく、効果的に伝えていくことができる企画を考える。どうやら、若年層を自館に集めるには、こういった方向性を考えていったほうがよさそうだ。

過去1年間の文化芸術イベントの参加率・参加イベント間クロス(複数選択) 提供:(公財)東京都歴史文化財団 n=10,000

	n数	クラシック音楽・現代音楽のコンサート	オペラ	ジャズのコンサート・ライブ	ポップス・ロックのコンサート・ライブ	演歌・歌謡曲コンサート	民謡・童謡などのコンサート	邦楽コンサート	エスニック・ワールドミュージック等	ロック・フェス・レイヴ等	クラブイベント、DJ、ラッパ・バトル等	アニメ・声優ボカロ、特撮系コンサート・ライブ、イベント	ミュージカル	演劇	児童演劇・人形劇	バレエ	舞踊・ダンス	歌舞伎	日舞	能・狂言・文楽・神楽などの伝統芸能	落語・寄席・演芸	お笑いイベント	アート・フェスティバル	写真展	工芸品・装飾品 服飾品展	建築・デザイン系イベント	歴史・文化的遺産の展示会や博物館 展示 歴史的建造物の見学会や講座	映画上映会(公開放映)	マンガ系イベント	書道展・書道イベント	華道・茶道展・イベント	文学・文芸系展示・イベント	科学技術 1T系展示、イベント	文化芸術に関するセミナー・ワークショップ・シンポジウム 講演会			
全体	10,000	12.7	3.5	5.7	18.7	1.9	1.6	9.7	1.7	8.2	4.2	8.8	10.2	8.3	2.1	2.9	2.6	3.3	1.0	2.2	3.5	7.9	15.8	6.7	3.2	6.1	8.2	3.3	4.1	14.1	9.8	2.1	1.6	2.4	5.7	1.5	
クラシック	1,265	100.0	20.9	26.2	38.4	10.9	8.8	24.5	9.0	22.4	15.7	23.6	33.4	24.3	8.4	14.5	11.1	13.9	4.7	11.8	14.3	23.5	41.6	23.3	14.1	19.1	23.7	12.6	16.1	30.8	24.7	10.8	8.2	10.9	17.2	6.2	
オペラ	345		100.0	49.6	49.3	24.9	21.2	36.8	23.5	34.5	29.0	37.7	49.6	38.0	18.6	33.0	23.2	26.4	13.0	27.8	25.2	36.8	46.7	34.2	28.1	30.1	33.6	25.8	29.6	39.7	36.5	23.2	19.4	22.0	25.2	14.2	
ジャズ	567			100.0	50.8	18.7	14.5	36.7	17.8	34.9	23.6	28.2	39.9	30.9	11.8	17.3	17.6	19.4	7.6	16.6	22.0	32.6	45.1	31.9	20.1	30.0	28.0	20.6	24.2	37.0	28.9	15.2	12.0	16.9	21.9	9.9	
ポップス・ロック	1,868				100.0	5.6	4.7	21.5	5.5	25.5	12.5	17.7	22.8	20.0	4.6	7.1	7.1	8.7	2.4	5.8	8.9	18.3	30.2	16.8	8.6	15.4	15.3	9.0	11.9	28.1	19.0	6.1	4.4	6.2	10.0	3.9	
演歌・歌謡曲	193					100.0	36.3	54.4	36.8	47.7	40.4	45.6	48.2	44.6	29.5	29.5	28.5	30.1	19.2	33.2	36.8	48.2	45.6	42.0	35.2	36.8	37.8	34.7	39.4	46.6	38.3	33.2	26.4	28.5	29.0	18.7	
民謡・童謡	159						100.0	45.3	45.9	46.5	41.5	46.5	44.0	42.8	32.7	33.3	35.2	31.4	23.3	34.0	32.1	42.1	42.1	40.9	32.1	36.5	44.0	39.6	39.6	47.8	42.1	34.0	33.3	34.0	20.8	21.4	
邦楽	969							100.0	9.2	31.3	16.5	20.8	28.6	26.0	7.1	9.7	9.1	12.2	5.2	10.5	13.4	28.1	32.0	21.2	10.9	17.5	19.6	11.7	16.8	33.5	24.1	9.1	7.3	9.8	15.0	5.9	
エスニック	165								100.0	55.2	52.1	51.5	47.9	32.7	33.9	33.9	34.5	24.8	39.4	39.4	48.5	48.5	43.6	39.4	42.4	48.5	45.5	47.3	48.5	47.9	32.1	30.9	38.2	33.9	25.5		
ロック・フェス	820									100.0	25.4	24.5	27.8	21.6	7.9	11.0	11.2	14.0	5.1	11.1	14.3	29.3	36.2	24.3	13.8	26.1	21.2	15.7	22.0	34.1	26.8	10.4	8.0	11.3	16.0	7.1	
クラブイベント	423										100.0	32.6	36.2	29.6	14.9	18.7	19.9	18.7	9.0	18.2	19.4	37.4	40.7	35.2	20.8	30.7	26.5	25.5	31.4	37.8	30.7	18.0	13.5	17.7	21.7	11.6	
アニメ・声優	882											100.0	29.9	26.1	8.2	10.1	9.3	10.9	5.1	9.5	12.6	21.8	30.3	18.9	10.9	17.8	19.6	11.9	15.8	35.5	50.8	9.8	7.4	10.9	16.1	6.1	
ミュージカル	1,023												100.0	39.3	9.0	16.0	14.2	16.2	4.8	10.8	14.7	25.1	43.5	23.7	13.5	20.0	22.0	12.7	16.9	34.4	24.5	11.1	8.5	9.9	16.2	6.1	
演劇	825													100.0	9.8	15.0	15.6	18.2	6.4	12.5	17.2	25.5	44.7	26.1	15.0	21.8	24.6	13.9	16.8	39.3	26.9	11.6	9.2	12.0	15.9	8.6	
児童演劇	206														100.0	27.2	26.7	23.8	17.5	22.8	24.3	34.0	40.3	34.5	26.2	30.6	33.0	26.2	28.6	41.3	35.4	27.2	22.3	24.8	23.8	14.6	
バレエ	291															100.0	33.3	34.4	14.4	26.1	24.7	34.0	55.7	39.9	27.1	30.9	36.8	23.7	29.9	41.9	29.9	26.1	23.0	20.3	16.1	14.8	
ダンス	260																100.0	35.0	16.9	27.3	29.2	38.5	55.0	42.3	32.7	36.5	38.8	30.8	36.9	47.3	31.5	29.6	22.3	26.5	30.4	17.7	
歌舞伎	327																	100.0	15.3	28.1	31.2	33.3	53.5	37.0	26.0	30.6	35.8	22.9	30.0	45.6	29.7	24.8	19.6	20.5	26.3	12.2	
日舞	96																		100.0	42.7	46.9	46.9	54.2	44.8	39.6	41.7	42.7	40.6	38.5	46.9	40.6	39.6	40.6	37.5	36.5	27.1	
伝統芸能	216																			100.0	46.3	46.3	63.0	44.4	38.0	39.8	50.0	33.3	38.4	51.4	41.7	32.4	30.6	31.9	34.7	24.1	
演芸	352																				100.0	48.0	51.7	32.7	23.6	27.8	36.1	24.1	21.0	43.2	33.0	20.7	18.2	21.0	27.0	13.1	
お笑い	789																					100.0	37.4	25.7	15.0	23.2	22.6	15.8	21.3	38.5	28.0	12.2	8.7	11.7	17.5	9.0	
美術展	1,583																						100.0	28.4	14.7	21.8	29.9	12.2	13.0	31.1	21.2	8.1	6.3	8.7	16.5	5.8	
写真展	671																							100.0	26.8	35.5	35.9	21.2	25.0	40.2	30.8	16.1	12.2	16.2	24.0	10.3	
工芸展	324																								100.0	45.4	52.5	35.2	36.1	46.3	37.0	28.4	22.5	28.1	33.6	20.1	
アートフェス	606																									100.0	32.0	23.4	27.4	38.1	32.0	14.4	12.4	17.3	24.4	12.7	
歴史文化財	824																										100.0	16.7	14.9	36.2	27.4	12.9	10.0	15.0	25.1	8.9	
建築・デザイン	329																											100.0	40.1	44.1	37.1	25.8	20.1	29.8	34.0	17.6	
ファッション	405																												100.0	48.6	41.5	20.7	16.3	22.5	26.2	15.1	
映画上映会	1,414																													100.0	28.6	8.0	5.9	8.8	14.3	5.7	
マンガ系イベント	981																														100.0	9.4	7.1	10.4	18.7	5.9	
書道	206																															100.0	38.3	38.8	36.4	19.4	
華道・茶道	155																																100.0	44.5	41.9	28.4	
文芸	236																																	100.0	49.2	27.5	
科学・IT	568																																		100.0	10.7	
セミナー・講演会	152																																			100.0	0

*表頭が過去1年間に参加した文化イベントの名称(表側は省略して記載)。

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

さいたま市

彩の国さいたま芸術劇場 「世界ゴールド祭 2018」



上：『病は気から』/下：『BED』
撮影：宮川舞子

●世界ゴールド祭2018

【会期】2018年9月22日～10月8日
【会場】彩の国さいたま芸術劇場・与野本町駅周辺、大宮銀座通り商店街、埼玉会館・浦和区市街地
【主催・企画・製作】埼玉県、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
【プログラム】さいたまゴールド・シアター×菅原直樹 徘徊演劇『よみちにひはくれない』浦和バージョン、さいたまゴールド・シアター×デービッド・スレイター『BED』(英)、カンパニー・オブ・エルダース『新作2018トリプルビル』(英)、マチュア・アーティスト・ダンス・エクスペリエンス『フロック(ドレス)』(豪)、グロウワーズ・ドラマ・グループ『カンボン・チュンブダ(チュンブダの村)』(シンガポール)、ゴールド・アーツ・クラブ×ノゾエ征爾『病は気から』、ワークショップ、シンポジウムなど

●蜷川幸雄とさいたまゴールド・シアター
2006年、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督に就任した蜷川が1,000人以上の応募者から選んだ55歳以上の高齢者によるさいたまゴールド・シアターを立ち上げ。無名の高齢者と共に個人史をベースにした新しい演劇を追求して社会現象に。2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラムに向けて60歳以上の高齢者による「1万人のゴールド・シアター」を企画。ノゾエ征爾が遺志を受け継ぎ、16年12月に、約1,600人が参加した大群集劇「金色交響曲」を追悼上演。

2016年に亡くなった蜷川幸雄の遺志を継いだ「世界ゴールド祭」が彩の国さいたま芸術劇場を主会場に行われた。世界の実力派と並び、日本からはさいたまゴールド・シアターと岡山を拠点に“老いと演劇”をテーマに活動するOiBokkeShi^{オイボクケシ}主宰の菅原直樹が参加。また高齢者700人以上が出演した同劇場のゴールド・アーツ・クラブ『病は気から』など、ノンプロとプロの垣根を越えた高齢者の表現の可能性をアピールしていた。

実際に幾つかのプログラムを取材した。世界のダンスをリードするサドラーズ・ウェルズ劇場のカンパニー・オブ・エルダースは11名のダンサーによる3本の新作短編を披露。身体を傾け、ドラムに合わせて足を踏み鳴らし、年齢を刻印した不協和音だらけの身体が明確な意思をもって動くと、人生や生や死や喜びや祈りが照明に浮かび上がってくる。

マチュア・アーティスト・ダンス・エクスペリエンスは小劇場演劇のようなサブカルチャーのパワーに溢れていた。バレエ界の巨匠、グレアム・マーフィーがメンバーの人生をインタビューして創作した『フロック(ドレス)』は、娘時代のドレスを着たマネキン・ロボットに導かれて鮮烈な青春時代を回想するというダンス演劇。ロックンロールが流れ、セリフはすべてナレーション。胸に一輪のヒマワリを飾った老人が、「死が暗闇って誰が言った そんなことないわ! I fly」と心で叫ぶと、思わず涙が溢れてきた。

寝間着姿の老人が横たわったりリアルなベッドが見慣れた街角に出現する『BED』は、2016年に初演されてセンセーションを巻き起こした作品。与野本町駅前のベッドを囲んだ人が、写真を見つめる老人に小声で話しかける。「誰ですか?」「息子です」。それをきっかけに我々が見て見ぬ振りをしている孤独な老人の日常がとりとめない会話で浮かび上がってくる。

渡辺弘事業部長は、「2020年まで蜷川のレガシーを事業として継続するという基本方針がある。ゴールド・シアターはもちろん、蜷川最後の企画となった60歳以上の人々による大群集劇「1万人のゴールド・シアター2016」はノゾエ征爾

がバトンを受け継ぎ、ゴールド・アーツ・クラブとして継続する。20年の第2回世界ゴールド祭も予定しているが、その後は、指定管理者の切り替えや大規模改修などの節目もあり、芸術監督制や高齢者事業をどのように展開していくか、ここ数年で答えを出したいと思っている」と言う。

今回最も驚いたのが、『病は気から』の挑戦だった。幕が開くと、舞台一面に折り重なった数百人の老人たち。そこから、自分を病気だと信じ込む男、権威的な医者など欲望にまみれた滑稽な人間たちを風刺する群集喜劇が始まった。

医療と薬漬けの日々を歌いながらウォーキングデッドのように歩き回り、恋する乙女心をピンクのドレスを着た大勢の老人たちが「赤いスイートピー」を歌って訴え、間抜けな風貌をした巨大風船の医者があつわりあつわりと舞台を彷徨う。指揮者のように客席後方に陣取ったノゾエが、時折、舞台上の老人に質問をぶつける。コール&レスポンスを交え、1役を何十人、何百人で演じる壮大な実験劇が展開した。

700人以上の出演者という稽古のマネジメントも困難な無名の人々との群集劇について、ノゾエはどのようにとらえているのだろうか。

「一人ひとは日常生活者なのに、それが集まった時に急に力を増して非日常になる。その大人数感が面白い。モチベーションも身体の状態もバラバラ。その色々な人がいるという真実を演劇という器の中にそのまま受け入れた時に何ができるのか。やろうとしてもできない零れてしまうところをちゃんと見せたい。零れた時に自然に起きる笑いを僕は求めていて、その笑いが起きた瞬間に、老いが愛らしいもの、肯定されるものになるのではないかと。そうした瞬間を劇場の空間に充満させられれば、知らず知らずのうちに生きていることが素晴らしいと思えるのではないかと。若い人は嘘をつく力があるが、高齢者にはそれが無い。だから目の前にあるものがリアルで、僕たちにも嘘じゃないと伝わる。そこが彼らにしか出せない表現なのではないかと思っている」

生涯学習やレクリエーションとしての高齢者事業ではなく、アートとして追求することの意味と可能性を感じたフェスティバルだった。(坪池栄子)